



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	61,763	△11.8	17,265	△38.7	17,423	△38.1	10,601	△40.9
29年12月期第3四半期	69,996	△19.9	28,175	△22.9	28,132	△22.1	17,939	△22.6

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 11,012百万円(△39.9%) 29年12月期第3四半期 18,312百万円(△19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	14.90	14.84
29年12月期第3四半期	25.22	25.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	81,184	71,697	83.5
29年12月期	78,070	62,412	76.0

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 67,756百万円 29年12月期 59,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 30年12月期の配当額は未定であります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	952,103,160株	29年12月期	952,103,160株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	240,617,438株	29年12月期	240,893,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	711,269,239株	29年12月期3Q	711,182,543株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成30年10月31日（水）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	5
四半期連結包括利益計算書（第3四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本におけるゲーム市場は、モバイルゲーム市場の緩やかな拡大と好調な家庭用ゲーム市場の成長に支えられ、平成29年は前年比13.7%増加し1兆5,686億円^{※1}となりました。

一方、世界におけるゲームコンテンツ市場もスマートフォンの普及拡大に伴うモバイルゲーム市場の成長と家庭用ゲーム機的好調な販売によりパッケージゲーム市場も拡大したことから、平成29年は前年比21.1%増加し10兆8,964億円^{※1}となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主に主力ゲームである「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ」）」の売上高が減少したことから、対前年度比で減収となりました。このような状況の中、当社では既存ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大、「新規価値の創造」に向けたグローバル配信前提のゲーム開発及びパートナー・パブリッシング事業に注力してまいりました。

既存タイトルにつきましては、「パズドラ」は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョンの追加やゲーム内容の改善、イベントの開催、他社有名キャラクターとのコラボレーションなどを継続的に実施してまいりました。平成30年9月22日には「東京ゲームショウ2018」において、「パズドラ」のプロゲーマーの頂点を決めるeスポーツイベント「パズドラチャンピオンズカップ」を開催いたしました。これらのゲーム内外における積極的なイベントの実施により、「パズドラ」の業績は安定化してきております。

新規タイトルにつきましても、平成30年6月27日にサービスを開始したスマートフォン向け妖怪探索位置ゲーム「妖怪ウォッチ ワールド」は、継続的なテレビCMの実施や位置情報を活用した異業種とのコラボレーションを行ったことなどによりユーザー数が拡大し、平成30年9月14日に200万ダウンロードを突破いたしました。

また、新規事業につきましては、当社、吉本興業株式会社及び株式会社サイバーエージェントが出資する合弁会社mspo株式会社（エムスポ）が、モバイルゲーム向け新サービス「mspo」の提供を平成30年9月28日より開始いたしました。「mspo」は既存のゲームアプリ上に自動でトーナメントを生成し、ユーザーのマッチングからポイントの付与、ギフト券への交換まで全てをワンストップで提供してまいります。

連結子会社のGRAVITY Co.,Ltd. につきましては、現在韓国や台湾を始めとした一部のアジア地域で展開しているスマートフォン向けゲーム「Ragnarok M: Eternal Love」のサービス地域を拡大するため、タイやフィリピンなどの東南アジアにおいて平成30年9月19日より事前登録を始め、平成30年10月31日よりサービスを開始する予定であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は61,763百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益17,265百万円（前年同期比38.7%減）、経常利益17,423百万円（前年同期比38.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,601百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1：ファミ通ゲーム白書2018

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、81,184百万円（前連結会計年度末比3,113百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、9,486百万円（前連結会計年度末比6,171百万円減少）となりました。これは主に、買掛金及び未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、71,697百万円（前連結会計年度末比9,285百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,031	63,049
売掛金	10,694	8,582
有価証券	1,949	145
商品	4	2
仕掛品	174	394
繰延税金資産	233	95
その他	1,852	1,729
貸倒引当金	△26	△8
流動資産合計	70,913	73,990
固定資産		
有形固定資産合計	522	418
無形固定資産		
ソフトウェア	307	573
ソフトウェア仮勘定	1,112	1,110
その他	221	110
無形固定資産合計	1,642	1,794
投資その他の資産		
投資有価証券	481	75
繰延税金資産	1,691	1,715
その他	2,945	3,311
貸倒引当金	△126	△122
投資その他の資産合計	4,991	4,979
固定資産合計	7,157	7,193
資産合計	78,070	81,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,230	1,842
短期借入金	200	—
1年内返済予定の長期借入金	146	177
未払法人税等	4,707	1,508
賞与引当金	6	15
その他	4,805	4,667
流動負債合計	14,097	8,211
固定負債		
長期借入金	154	159
その他	1,406	1,116
固定負債合計	1,560	1,275
負債合計	15,658	9,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,474	5,487
利益剰余金	128,609	137,066
自己株式	△80,118	△80,027
株主資本合計	59,303	67,866
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32	△109
その他の包括利益累計額合計	32	△109
新株予約権	727	839
非支配株主持分	2,348	3,101
純資産合計	62,412	71,697
負債純資産合計	78,070	81,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	69,996	61,763
売上原価	25,294	26,881
売上総利益	44,702	34,881
販売費及び一般管理費	16,526	17,615
営業利益	28,175	17,265
営業外収益		
受取利息	41	64
為替差益	—	84
その他	26	15
営業外収益合計	67	164
営業外費用		
支払利息	12	3
為替差損	90	—
その他	7	2
営業外費用合計	110	6
経常利益	28,132	17,423
特別損失		
減損損失	1,385	690
投資有価証券評価損	—	31
特別損失合計	1,385	722
税金等調整前四半期純利益	26,746	16,701
法人税、住民税及び事業税	8,421	5,383
法人税等調整額	106	106
法人税等合計	8,528	5,489
四半期純利益	18,218	11,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	279	610
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,939	10,601

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	18,218	11,211
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	93	△199
その他の包括利益合計	93	△199
四半期包括利益	18,312	11,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,013	10,459
非支配株主に係る四半期包括利益	298	552

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。